

いかに歯を機能的に残していくか！ 根管治療のトラブルに使えるレーザー治療

時代はいかに自分の歯を機能的に残し、生涯にわたって健康的な生活を満喫できるかという方向に向かっていると考えます。その中で歯内療法において、いかに歯牙組織を残していくかを考えた場合に治療の中にレーザーを取り入れる事でこれまで以上に高度な保存治療を患者様に提供できる可能性をご存じですか？



医療機器承認番号：21700BZY00507000

天然歯に勝る物はありません。浸出液が止まらない、出血がコントロールできない為に抜歯が唯一の選択肢でしょうか？また歯根破折は即抜歯でしょうか？その前にできる事を試してみませんか？諦めていた歯根が残せるかもしれない。今回、歯内療法専門医として日々臨床に当たり、日々の臨床の中からいかにして歯を、そして資質を残して治療することが大事かをテーマに様々な難治症例に取り組まれている瀧田稔弥先生がいかに歯を残す事を考えて治療に取り組まれているか、残すためにどう言う取り組みをしているのか、どのような治療計画を立てているか。そして歯を残すためにレーザーがなぜ必要なのか、どのように使うのかをテーマにお話させていただきます。

日時 2021年6月13日(日)
10:00～12:00(45分間×2)

会場 WEBセミナー
・ ※事前にZOOMアプリのダウンロードをお願い致します

定員 50名 **受講料** 3,000円(税込)

※お申し込みは、先着順とさせていただきますので定員となり次第、締め切らせていただきます。
※ご入金をもちまして正式お申し込みとさせていただきます。
なお、ご入金後の返金には応じかねますのであらかじめご了承ください。

講師 瀧田稔弥先生

<略歴>
2001年 日本大学歯学部卒業
2002～2006年 日本大学歯学部付属病院 歯内療法大学院
2006年 東京都神津島歯科診療室勤務
2006～2008年 日本大学歯学部 附属病院 歯内療法科勤務
2008～2010年 谷口歯科(東京)勤務
2010～2013年 西村歯科(埼玉)勤務
2010～2012年 ペンシルバニア大学歯学部 歯内療法学講座
インターナショナルプログラム受講
<資格・学会活動> 歯学博士・日本大学歯学部歯内療法学講座非常勤講師・日本歯科保存学会専門医・日本臨床歯内療法学会会員・日本歯周病学会会員



内容

- ◆根管治療失敗の原因
 - 解剖学的複雑性
 - 不適切な根管拡大
 - 器原性疾患(穿孔・器具破折)
 - コロナルレストレーション
- ◆根管治療を成功に導くために
 - 適切な準備と必要な器材
 - 拡大視野の利用
 - NiTiファイルの適切使用
- ◆様々な症例への適用
 - 破折ファイルの撤去
 - 根尖孔外の残留ガッタパーチャ除去
 - 根尖病巣内の不良肉芽除去
 - レーザーイリゲーション(根管洗浄)
 - ポスト除去への応用
 - パーフォレーションリペア時の活用
- ◆破折根管への対応
 - 破折根管の種類
 - 術式と考え方
- ◆日常ルーティンでのレーザー活用

お申込みはFAXまたは
右記QRコードからどうぞ



<主催>インサイブ ジャパン株式会社 <協賛>ササキ株式会社首都圏・神奈川ブロック <お問合せ先>インサイブ ジャパン株式会社 TEL:03-6715-6133

☆下記お申し込み用紙に必要事項をご記入の上、
営業担当者にお渡しいただくかFAXにてお申し込み下さい。

FAX お申込先 03-6715-6137

2021年6月13日瀧田稔弥先生レーザーエンドコース参加お申込書

お名前	フリガナ	貴医院名	フリガナ
ご住所	e-mail		
TEL		FAX	